事業計画書概要

1. 事業者名

住所 東松島市矢本字上河戸36番地1

氏名 東松島 太郎

2. 転用目的

農家分家住宅の建築のため

3. 土地の所在及び面積

所在 東松島市〇〇字□□番の一部

面積 ◇◇㎡

内訳 田 ◇◇㎡

4. 申請地を選定した理由

- ・市街化区域内の土地を探したが、見つからなかったため
- ・実家から近く、父の農作業の手伝いをしやすいため
- ・自身が所有土地が無いため
- ・計画している面積を満たせるため

5. 申請地面積の必要性

住宅用地として〇〇㎡、駐車場用地として△△㎡、通路として◇◇㎡利用する計画となっているため

6. 用排水計画

上・下水道は新たに整備する。

7. 被害防除計画

周囲に土留を設置するとともに雨水勾配を○から○方向に設けることにより、周辺農地への土砂等の流出を防ぎます。

8. 他法令関係

農地法(農地転用)及び都市計画法(開発許可)

9. 資金計画

収入	自己資金	2,000,000	円	内訳 造成費
	補助金		円	
	借入金	30,000,000	円	七十七銀行 矢本支店
			円	
	合計		円	

	土地関係	土地整地別	面積 m ²		費用		備考
			棟数	面積 m ²	単価	総金額	
支出	土地関係	用地費					円
		造成費		◇◇		5,000,000	円
		事務費		◇◇		1,916,000	円
		計				6,916,000	円
		建築物等	建築物		費用		備考
		棟数	面積 m ²	単価	総金額		
	居宅		〇〇		23,084,000	円	
	物置					円	
	作業場					円	
	事務所					円	
	貸し住宅					円	
	建売住宅					円	
	その他		△△		2,000,000	円	
	計				25,084,000	円	
	合計				32,000,000	円	

記載注意

(1) 「1 事業者名」欄には、法人の場合、従業員数・事業内容・年間事業実績を記載する。

(2) 「4 申請地を選定した理由」欄には、当該転用目的から、その土地でなければならなかった理由{例えば、都市計画法の用途地域内での用地選定の可能性など、当該農地以外（宅地、山林等）での候補地選定の可能性がなかったか}を記載する。

(3) 「5 申請地面積の必要性」欄には、転用する面積が妥当かどうか判断するので、建物等の計画面積とその必要性等を具体的に記載する。（例えば、従業員〇〇に対し、〇〇台の駐車場が必要となるため、〇〇m²が必要である等）

(4) 「6 用排水計画」欄には、申請に係る事業が用水を取水し廃水を排水する場合に、その時期、方法、水量、水質等についての計画を記載するとともに取水又は排水について法令等の許認可を要するときは、その許認可の見込み、協議状況について記載する。

(5) 「7 被害防除計画」欄には、申請に係る農地の転用行為により土砂の流出又は崩壊その他の災害を発生させるおそれがある場合又は農業用排水施設の有する機能に支障を及ぼすおそれがあると認められる場合その他の周辺の農地に係る営農条件に支障を生ずるおそれがあると認められる場合には、その防除措置計画の概要を記載する。（災害発生のおそれがない場合でも記載すること）

(6) 「8 他法令関係」欄には、当該転用により行政庁の許認可が必要となる場合に、法令等の名称、その行政庁の担当課名、許認可内容等を記載する。{例 都市計画法第29条の規定による開発許可が必要であるが、県建築宅地課と協議を了している。}